

学校名	福島県立ふくしま新世高等学校	校長	味原 正美
住所	福島県福島市渡利字七社宮17		
TEL	024-523-4740	URL	https://fukushimashinsei-h.fcs.ed.jp/

「きみの選択が未来を変える」

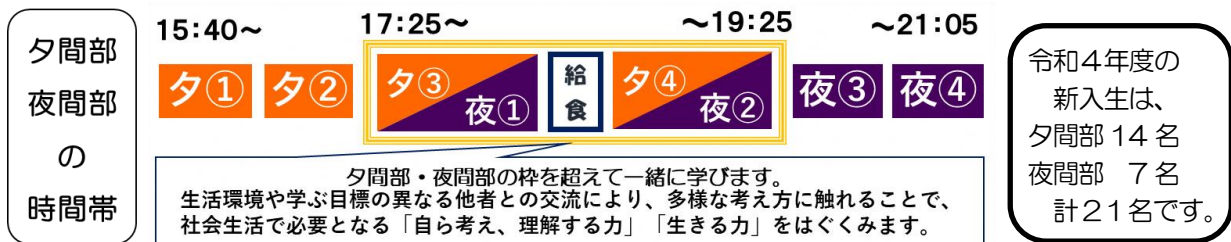
～令和4年4月に保原高校定時制と福島中央高校が統合し、ふくしま新世高校が開校しました～

- | | |
|-----------|------------------------------------|
| 本校の
特色 | ① 従来の「夜間部」に加え、新たに「夕間部」を開設（入学後に選択） |
| | ② 「三修制」を選択することで、三年間での卒業が可能（通常は四年間） |

選択①「夕間部？夜間部？」

夕間部は15時40分から授業が始まり、4時間の授業を受けて19時25分に終了します。夜間部は17時25分に授業開始、21時05分に終了です。給食前後の2時間は、夕・夜間部の合同授業となります。

夕・夜間部どちらも、授業開始までの時間をアルバイトなどに有効に活用することができます。「夕間部」の開設により、自分の生活スタイルに合わせて学ぶ時間帯を選択することができるようになりました。



選択②「三修制」

定時制高校では通常四年間かけて卒業しますが、単位の追加取得により三年間で卒業することも可能です。この制度を「三修制」と言います。三修制を希望する生徒は、四年次に履修する科目の一部に加え、「論点講座」、「地域社会研究」など「自ら考え課題を発見し解決しようとする力」を身に付けることを目的とした、本校独自の講座を受講して単位を取得します。「四年間でゆっくと着実に学ぶ」という従来の学びと、「全日制と同じ期間で多様な科目を学ぶ」という新たな学びから、目標に合わせて「学ぶ期間」を選択することができます。

地域社会研究（8/5「摺上亭大鳥」、8/23「まるせい果樹園、平野共選場」）の様子



福島市の果樹園が抱える魅力と課題を学ぶために、飯坂町平野の「まるせい果樹園」を訪問し、代表の方にお話をうかがいました。午後は、平野共選場を見学し、桃の出荷と流通について学びました。

飯坂温泉の「摺上亭大鳥」を訪問し、支配人の方から「観光業の魅力と課題」についてお話をうかがい、施設内を見学しました。

年度末には学習の成果をまとめ、地域の魅力を発信するとともに地域が抱える課題の解決策を提案する発表会を予定しています。（今後の活動は学校HPでも紹介しますのでご覧ください）

トピック 「保原校舎卓球部 全国大会出場」

6月11日（土）、静まり返るあづま総合体育館サブアリーナで、保原校舎に通う2年生同士で決勝戦が行われました。私は校長として誇らしいと思う反面、どちらかがポイントをとるたびに、拍手してよいのかどうかと複雑な思いでした。

この日は第59回福島県高等学校定時制通信制体育大会が行われ、保原校舎卓球部は団体戦で優勝、個人戦1～3位という結果を得ることができました。それに伴い、7月26日（火）～28日（木）に東京の駒沢オリンピック公園総合運動場体育館で行われた全国高等学校定時制通信制体育大会への出場権を獲得しました。入賞こそ果たすことができなかったものの、普段味わうことができないような大舞台を味わったからでしょうか、帰ってきた彼らの表情を見て、「また一つ成長したな」と実感しました。

